

平成 20 年 5 月 26 日

教授候補者の募集について（お知らせ）

岩手大学農学部共生環境課程教授選考委員会  
委員長 教授 古賀 潔

本課程では、下記募集要項により教授 1 名を公募します。  
選考は本学の定める手続きにより行い、結果は応募者本人にお知らせします。

岩手大学農学部共生環境課程教授募集要項

- 1 職種・人員 教授・1 名
- 2 所属・担当 環境科学系に所属し、学部は農学部共生環境課程、地域環境工学コース分野を主に担当します。大学院は農学研究科農林環境科学専攻を担当します。
- 3 教育研究分野・担当科目 教育研究専門分野：農村地域における土壌環境工学、水質環境工学  
担当科目  
学士課程：環境計測学、水環境工学、環境修復工学  
修士課程：土壌環境学特論  
その他：学士課程における全学共通教育科目、専門基礎科目の一部
- 4 応募資格 (1)博士の学位を有する 50 歳以下の方。  
(2)当該専門分野において教授にふさわしい研究業績を有し、今後当該分野において新規性、独創性を持つ研究を展開できること。  
(3)学部生および大学院生に対する教育研究指導を熱心に行えること。  
(4)農山村地域の環境汚染問題などにおいて地域貢献できること。  
(5)課程および大学運営に積極的に参加できること。
- 5 任用予定日 平成 20 年 12 月 6 日以降
- 6 提出書類 (1)履歴書 1 通（写真貼付、署名、捺印のあるもの。）  
(2)研究業績目録 1 部（別紙作成要領を参照）  
(3)主要論文別刷 5 編以内（コピー可）  
(4)これまでの研究概要および今後の研究と教育活動に関する抱負（2000 字程度）  
(5)照会可能な方 1 名の氏名と連絡先（住所、電話、E-mail）
- 7 公募締切日 平成 20 年 6 月 25 日
- 8 応募書類提出先 および問い合わせ先 提出先：〒020-8550 盛岡市上田 3-18-8  
岩手大学農学部共生環境課程教授選考委員長 古賀 潔  
（応募封筒には「共生環境課程教授 応募書類在中」と朱書きして、簡易書留で郵送して下さい。なお、応募書類は返却しませんが、却希望の場合は返却用封筒（切手貼付のもの）を同封してください。）  
問い合わせ先：  
電話・FAX：019-621-6189，E-mail：kkoga@iwate-u.ac.jp  
（問い合わせは、出来るだけ E-メールでお願いします。その場合、件名を【共生環境課程教授公募について】としてください）
- 9 ホームページ（参考） 共生環境課程のホームページ URL は下記のとおりです。  
<http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/department2/env/index.html>

(別紙)

「研究業績」の作成について(2007.4)

農学部教員人事委員会

研究業績は、A4判の用紙に A.著書・訳書、B.学位論文、C.総説・論説、D.原著論文 (a)学術雑誌<sup>\*1</sup>、(b)紀要<sup>\*2</sup>、(c)プロシーディングス、E.その他<sup>\*3</sup>、F.報告書・事業報告書等<sup>\*4</sup>、G.特許・設計等、H.国際学会発表<sup>\*5</sup>、I.国内学会発表<sup>\*5</sup>の順に、下記の例を参考にして作成してください。例えば総説・論説がない場合は、C.原著論文のように繰り上げてください。マージンは左右上下約3cmに設定し、1行35~40字で40行程度(日本文の場合フォントのサイズは10.5~12程度)にしてください。

\*1:学会誌、国際誌等を年代順に記載する。

\*2:試験場報告、研究所報告等を含む。

\*3:商業雑誌、資料等を記載する。

\*4:調査報告書、科学研究費報告書、事業報告書等を記載する。

\*5:最近5カ年について記載する。(教授選考の場合、I.国内学会発表は不要)

\*6:英文で著者名を記載する場合は、下記のようにする。

1. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)

\*7:学名にはアンダーラインをつけるか、またはイタリックで記載する。

\*8:論文番号は全角、英数字は半角にする。また、巻数はポールド(太字)とする。

\*9:Journalは略記する。

\*10:発行又は発表予定として記載可能なのはin press か accepted のみとする。

記載例

研 究 業 績 (著書・学術論文等)

A. 著書・訳書

1. 岩手一郎 (単著)(1990)

農学について. 出版社, 東京, 100p.

2. 岩手一郎 (分担執筆)(1991)

岩手の農業(大学太郎, 学部一郎編), 堂, 盛岡, pp.10-20.

3. 岩手一郎 (分担翻訳)(1992)

アメリカの農業(A.B.Carter 著, 大学太郎監訳), 社, 東京, pp.20-30.

4. Iwate, I. and Morioka, J. (分担執筆)(1993)

Agricultural Sciences (Eds.: D. E. F. Green and H.I.James), Bio Press, London, pp.20-30.

(注)執筆した表題等は表記する必要はありません。

B. 学位論文

1. 岩手一郎 (1980)

X Y Zに関する研究.[ 学修士または修士( 学) 大学]

2. 岩手一郎 (1983)

A B Cに関する研究.[ 学博士または博士( 学) 大学]

C. 総説・論説

1. 岩手一郎 (1994)

岩手における野生動物の分布. 岩手の自然 3: 1-5.

2. 岩手一郎, 盛岡次郎 (1995)

岩手山の植物分布. 岩手植物誌 15: 215-220.

D . 原著論文

( a ) 学術雑誌

- 1 . 岩手一郎 ( 1985 )  
岩手の野生動物に関する研究 . 日動学誌 5 : 15-20.
- 2 . Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. ( 1986 )  
Distribution of wild animals in Iwate Prefecture. Jpn. J. Anim. Sci. 20 : 100-105.
- 3 . Iwate, I. ( 1990 )  
Calcium metabolism in laying Japanese quail (*Coturnix coturnix japonica*). Jpn. Avian Physiol. 25 : 15-20.

( b ) 紀要

- 1 . 岩手一郎 ( 1985 )  
トウホクヤマネズミの生態について . 岩手大農報 17 : 30-40.

( c ) プロシーディングス

- 1 . Iwate, I., Morioka, J. and Akita, N. ( 1995 )  
Mode of life of Japanese macaques in northern Japan. Proc. 5th Int. Cong. of Wild Animals, Berlin, pp.101-102.

E . その他

- 1 . 盛岡次郎, 岩手一郎 ( 1990 )  
北上山系におけるニホンカモシカの生態調査 . 野生動物 125 : pp.35-45.

F . 報告書・事業報告書等

- 1 . 盛岡次郎, 岩手一郎 ( 1993 )  
イヌワシのPCB汚染 . 自然動物調査報告 ( 県 ), pp.10-11.

G . 特許・設計等

- 1 . 盛岡次郎, 岩手一郎 ( 1993 )  
イヌワシ捕獲装置 特許第 1234567 号

H . 国際学会発表 ( 最近 5 年 )

- 1 . Morioka, J. and Iwate, I. ( 1996 )  
Ecological study of wild animals in Japan. 5th Int. Anim. Ecol., New York.

I . 国内学会発表 ( 最近 5 年 )

- 1 . 岩手一郎, 盛岡次郎 ( 1997 )  
岩手の野生動物 . 第 100 回日本野生動物学会講演要旨 : 25-26.